

SMART Board® 7000および7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ

インストールおよびメンテナンスガイド

SBID-7075 | SBID-7086 | SBID-7275 | SBID-7286 | SBID-7375 | SBID-7386
SBID-7075P | SBID-7086P | SBID-7275P | SBID-7286P | SBID-7375P | SBID-7386P
ID7075-1 | ID7086-1



詳細

このガイドおよびSMART Board 7000 and 7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイ用の
のその他リソースは、SMART ウェブサイトのサポート セクション (smarttech.com/support) か
らご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにア
クセスできます。

ライセンス

HDMIおよびHDMI高解像度マルチメディアインターフェースおよびHDMIのロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
BluetoothのワードマークはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、SMART Technologies ULCは使用許諾を受けてこのマークを使用しています。

商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART Meeting Pro、SMART Ink、SMART kapp、SMART kapp iQ、HyPr Touch、Pen ID、smarttech、SMARTロゴ、およびSMARTのすべての
キャッチコピーは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。Intelは、Intel Corporationの米国やその他の国における商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国やその他の国における登録商標または商標です。Apple、Mac、OS X、iPhone、iPad、iPod touch、iTunes、AirPlayおよび
BonjourはApple Inc.の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。Google、Google Cast、Google Play、Android、Chrome、Chromebook、およびChromecastはGoogle
Inc.の商標です。AirParrotはSquirrels LLCの商標で、米国およびその他の国で登録されています。その他すべてのサードパーティ製品および会社名は、各社の商標である場合があります。

著作権表示

© 2017–2018 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULC の事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法
を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologiesが変更を約束するものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

www.smarttech.com/patents

10/2018

注意事項

重要事項

ディスプレイの機能がすべて使用できる最良の状態を維持するためにインストールが必要な、重要なソフトウェアアップデートがあります。有線または無線のネットワークに接続して、これらのアップデートおよび将来的なアップデートが自動的にダウンロードおよび適用されるようにしてください。

警告

- ディスプレイに付属の設置指示書に従わない場合、保証書で補償されない場合のある作業者のケガや製品の損傷につながる場合があります。
- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に座らないでください。(特にお子様には) ご注意ください。椅子などを使用する必要がないように、適切な高さに製品を取り付けてください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- ディスプレイに部品の交換が必要な場合は、SMART Technologiesの指定する交換部品、または元の部品と同等の特性を持つ部品を使用することをご確認ください。
- 床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があります。保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルへの損傷が、保証の対象ではない恐れのある衝撃、火災や製品損傷の原因となる可能性があります。
- ディスプレイの有極プラグに完全に対応することができる延長コードと差込口のみを使用します。
- ディスプレイに付属の電源ケーブルを使用します。電源ケーブルが供給されない場合は、供給業者にお問い合わせください。電源コンセントのAC電圧に一致する電源ケーブルのみを使用し、さらに国の安全基準を遵守します。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- 取っ手にロープやワイヤーをつないでディスプレイを移動または取付しないでください。ディスプレイが重いと、ロープ、ワイヤー、取っ手の不具合が、怪我につながる恐れがあります。
- VESA認定済みマウント以外は使用しないでください。

- ディスプレイのすべての電源ケーブルをコンセントから外し、次のいずれかが発生した場合、資格のあるサービス担当者からの支援を求めます。
 - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
 - ディスプレイに液体をこぼした
 - ディスプレイに物を落とした
 - ディスプレイの落下
 - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
 - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作

注意事項

- 画面をクリーニングする前にディスプレイをOFFにします。こうすることで、スクリーンを拭くときにデスクトップアイコンがぼやけたり、アプリケーションの誤起動を防ぐことができます。
- 過度にほこりや湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイを使用しないでください。
- ディスプレイの近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- ディスプレイは、ヨーロッパのITNおよびIT出力分配システムのみでの使用にする必要があります。
ヨーロッパの一部の国で使用されている旧式のITタイプの出力分配システムには適合していません。「このシステム(ITタイプ)」は、地面から離れた状態で広く使用されていますが、一部フランスでは230/400Vでインピーダンスを通して接地され、ノルウェーでは、電圧制限器により中性非分配型で230Vのライン間電圧で使用されています。
ディスプレイを設置する際に使用可能な電源システムのタイプに関して不明な点がある場合は、担当者までお問い合わせください。
- アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには、電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 60950-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。
- 必ず、ディスプレイに付属のUSBケーブルを使用し、USBロスマークのあるコンピューターのUSBインターフェースに接続してください。さらに、USBコンピューターはCSA/UL/EN60950に準拠しており、CEマークとCSA/UL60950用のCSAおよび、またはULマークが付いていなければなりません。こうした規定は、安全な操作と、ディスプレイへの損傷を防ぐためのものです。
- iQコントローラ(AM50)が冷却するまで5分間待つてから、iQコントローラ(AM50)を取り外します。

重要事項

- ディスプレイの通常の動作電源要件は下記になります。

モデル	電源条件
SBID-7075	AC100v-240v、50Hz-60Hz、147W
SBID-7086	AC100v-240v、50Hz-60Hz、172W
SBID-7275	AC100v-240v、50Hz-60Hz、162W
SBID-7286	AC100v-240v、50Hz-60Hz、187W
SBID-7375	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、162 W
SBID-7386	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、187 W
SBID-7075P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、147 W
SBID-7086P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、172 W
SBID-7275P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、162 W
SBID-7286P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、187 W
SBID-7375P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、162 W
SBID-7386P	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、187 W

- 追加要件およびその他の情報は、ディスプレイの仕様書 (14 ページ詳細情報) を参照してください。

米連邦通信委員会の干渉に関する声明

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作の原因となる場合のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。

注記

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。本装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様のご負担による改修等の対策が必要になります。

⚠ 注意事項

コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

放射線被爆ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

イノベーション、科学・経済開発省のカナダにおける声明

本デバイスは、イノベーション、科学および経済開発のカナダの規則RSS-247に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がなく、
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

放射線被爆ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

EU適合宣言

SMART Technologies ULCはこれにより、無線機器タイプのインタラクティブディスプレイSBID-7075、SBID-7075P、SBID-7086、SBID-7086P、ID7075-1、ID7086-1、およびインタラクティブペンSBID-7000-PENが、2014/53/EU指令に準拠していることを宣言します。EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネット アドレスでご利用可能です: smarttech.com/compliance

⚠ 警告

本装置はCISPR32のクラスAに準拠しています。本装置は、住環境で電波干渉の原因となる可能性があります。

無線周波数帯域、最大電力レベル:

送信帯域(MHz)	最大送信電力EIRP(dBm)
2402–2483.5	5.0

注意事項

マレーシア仕様への準拠

SMART Technologies ULC インタラクティブディスプレイ SBID-7075、SBID-7075P、SBID-7086、SBID-7086P、ワイヤレスペンモデル SBID-7000-PEN および SBID-7000P-PEN は、マレーシアの認証機関、SIRIM QAS International が定める要件を満たしています。



アラブ首長国連邦 - TRA 登録詳細

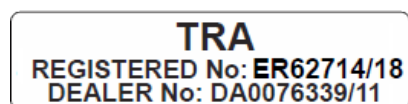
ペン – 適合モデル SBID-7000-Pen および SBID-7000P-PEN



75" パネル – 適合モデル SBID-7075 および ID7075-1



86" パネル – 適合モデル ID7086-1



Windows® 10 オペレーティングシステムに関する Microsoft® のステートメント

Windows 10 の自動更新は常に有効になっています。ISP 料金が適用される場合があります。将来的に更新に関する追加的の要件が適用される場合があります。

目次

目次	6
第 1 章: ようこそ	8
本ガイドについて	8
モデルの見分け方	9
特徴	10
構成部品	10
アクセサリ	13
詳細情報	14
第 2 章: ディスプレイの設置	16
ディスプレイの設置場所への移動	16
壁へのディスプレイの設置	18
スタンドにディスプレイを設置します。	23
第 3 章: 電源とデバイスの接続	24
電源の接続	24
ネットワークへの接続	25
Intel Compute Cardの接続	25
室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続	26
外付けスピーカーの接続	27
室内コントローラの接続	28
ディスプレイの接続ポート	28
ディスプレイ操作パネル上の接続ポート	29
iQコントローラの接続ポート	30
その他コネクタ	32
第 4 章: ディスプレイの電源をオンにする (初回)	33
第 5 章: ディスプレイのメンテナンス	34
ディスプレイの設置状態の確認	34
画面のクリーニング	34
通気の確保	35
結露の防止	35
ペンおよびレーザーの交換	35
ディスプレイの消灯と点灯	36
ディスプレイのリセット	36
ディスプレイの取り外しと移動	36
システムソフトウェアの更新	37
第 6 章: トラブルシューティング	39
電源の問題解決	40
存在検知の問題解決	40

ビデオの問題解決	41
画質の問題解決	41
オーディオの問題解決	43
タッチおよびデジタルインクの問題解決	43
iQの問題解決	44
Intel Compute Cardの問題解決	44
ソフトウェアの問題解決	44
その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください	45
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	45
付録 A: iQ設定の調整	46
ネットワークの設定	46
カスタマイズ	47
アプリケーションの設定	48
システム設定	50
付録 B: ディスプレイのリモート管理	58
複数のディスプレイの接続	59
コンピューターのシリアルインターフェースの設定	59
電源状態	60
コマンドと応答	61
電源状態コマンド	63
入力コマンド	63
明るさコマンド	64
フリーズコマンド	64
ボリュームコマンド	64
ミュートコマンド	64
ファームウェアバージョンのコマンド	65
シリアル番号のコマンド	65
パーツ番号のコマンド	65
リモート管理に関する問題の解決	66
付録 C: ハードウェア環境コンプライアンス	67
廃電気電子機器 (WEEE)	67
バッテリー	67
詳細情報	67

第1章 ようこそ

本ガイドについて	8
モデルの見分け方	9
SMART Board 7000 / 7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルを見分ける	9
お使いのiQコントローラモデルの特定方法	9
特徴	10
構成部品	10
画面	11
存在検知センサー	12
ホームボタン	12
ペンとイレーザ	12
操作パネル	12
iQコントローラ(およびIntel Compute Card)	12
内蔵スピーカー	13
アクセサリ	13
SBA-100オーディオシステム	13
SMART Audio 400教室用音響システム	14
USB延長ケーブル	14
詳細情報	14

本章では、SMART Board® 7000および7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイをご紹介します。

本ガイドについて

本ガイドでは、SMART Board 7000または7000 Proシリーズのインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスの方法についてご説明します。次の情報が含まれています。

- ディスプレイを設置する方法
- 電源とデバイスを接続する方法
- 最初にディスプレイをONにして、iQ機器を設定する方法
- 長年使用したディスプレイをメンテナンスする方法
- ディスプレイに関する問題をトラブルシューティングする方法

さらに、本ガイドは、ディスプレイの設定、リモート管理のサポートについての情報を含んでいます。

このガイドは、本ディスプレイの設置およびメンテナンス担当者向けに作成されています。ディスプレイ使用者向けのその他のマニュアルや資料もご利用いただけます(14 ページ詳細情報参照)。

モデルの見分け方

SMARTは、複数モデルのSMART Board 7000および7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイを提供しています。

SMART Board 7000 / 7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイモデルを見分ける

SMART Board 7000および7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイは、以下のモデルで構成されています。

モデル	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ	Intel® Compute Card
SBID-7075	白	75" (190 cm)	いいえ	いいえ
SBID-7086	白	86" (218 cm)	いいえ	いいえ
SBID-7275	白	75" (190 cm)	はい	いいえ
SBID-7286	ホワイト	86" (218 cm)	はい	いいえ
SBID-7375	ホワイト	75" (190 cm)	はい	はい
SBID-7386	ホワイト	86" (218 cm)	はい	はい
SBID-7075P	黒 白	75" (190 cm)	いいえ	いいえ
SBID-7086P	黒 ホワイト	86" (218 cm)	いいえ	いいえ
SBID-7275P	黒 白	75"(190cm)	はい	いいえ
SBID-7286P	黒 白	86" (218 cm)	はい	いいえ
SBID-7375P	黒 白	75" (190 cm)	はい	はい
SBID-7386P	黒 白	86" (218 cm)	はい	はい

本モデルの製品寸法や質量等の詳細な技術情報は、仕様書を参照してください(14 ページ詳細情報参照)。

お使いのiQコントローラモデルの特定方法

iQコントローラがアクセサリスロットに接続された一部のモデルでは、iQ機能を使用することができます。SMART は、複数モデルのiQコントローラを提供しています。

[iQコントローラモデルの識別ウィザード](#)を使用して、お使いのディスプレイに搭載されているiQコントローラのモデルを特定します。

特徴

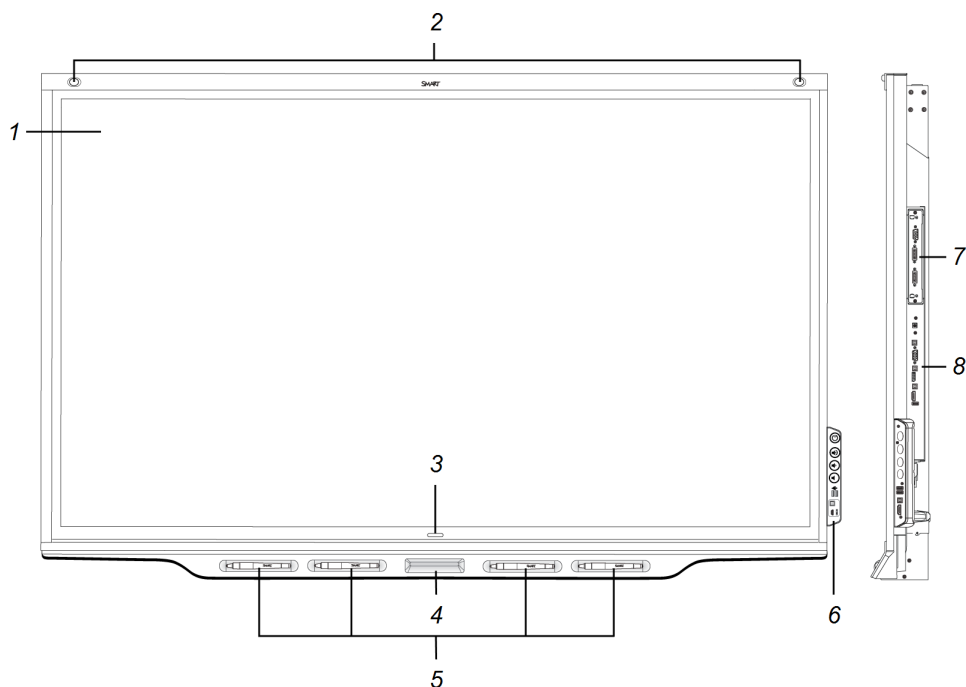
SMART Board 7000 / 7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイは、教室や会議室の中心で役立てていただける製品です。組込システムを搭載し、ホワイトボードやワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどの共同ツールにワンタッチでアクセスできる使いやすさが特徴です。電線やケーブル、マニュアルファイル、ファームウェアの更新等は不要です。

本ディスプレイの特徴:

特徴	説明
iQの使用	ディスプレイのiQコントローラからワンタッチで、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにアクセスできます。 SBID-7375、SBID-7386、SBID-7375P、およびSBID-7386PモデルのコントローラにはIntel Compute Cardが付属し、Windows 10が対応するすべての機能を指一本で、外付けPCや配線不要で操作することができます。
タッチ操作	ディスプレイの表面にタッチして、アプリケーションの開始と終了、他の人との交流、新規文書の作成や既存文書の編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオの再生や加工など、コンピューターでできる作業をすべてこのディスプレイで行うことができます。
書き込みおよび描画操作	付属のペンを使用してアプリケーションの上にデジタルインクで描画し、手のひらやイレーザ、ペン尻の消しゴムを使って描画を消すことができます。
オーディオの操作	本ディスプレイには、接続された入力ソースからの音声を出力する内蔵スピーカーが含まれています。

構成部品

ディスプレイは、次の部品で構成されています。



No.	名前	詳細情報
図中に表示あり		
1	画面	11 ページ
2	存在検知センサー(×2)	12 ページ
3	ホームボタン	12 ページ
4	イレーサー	12 ページ
5	ペン(×4)	12 ページ
6	操作パネル	12 ページ
7	iQコントローラ(およびIntel Compute Card)	12 ページ
8	コネクタパネル	28 ページ
図中に表示なし		
9	AC電源入力、コンセント、スイッチ	33 ページ
10	RS-232コネクタ	23 ページ 58 ページ
11	スピーカー	13 ページ

画面

画面寸法:

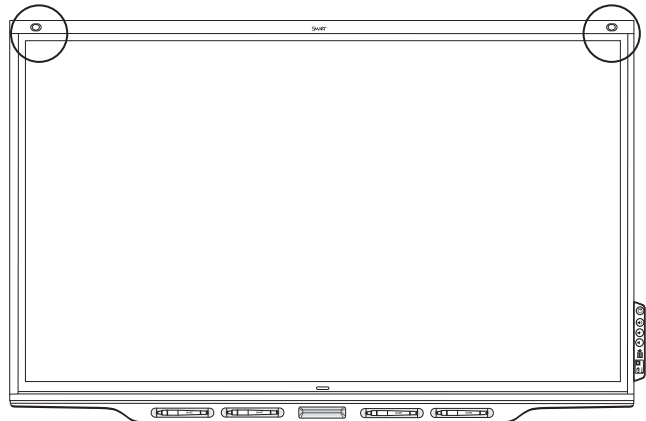
モデル	対角	幅	高さ
SBID-7075	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7086	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)
SBID-7275	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7286	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)
SBID-7375	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7386	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)
SBID-7075P	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7086P	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)
SBID-7275P	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7286P	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)
SBID-7375P	75" (190.5 cm)	65" (165.2 cm)	38 5/8" (93 cm)
SBID-7386P	86" (218.4 cm)	74 7/8" (190.3 cm)	42" (107 cm)

存在検知センサー

ディスプレイ上枠の2か所には、スタンバイモード時に5m先にいる人を検知可能な存在検知センサーが搭載されています。

センサーが人を検知すると、ディスプレイは点灯可能な状態になります。ディスプレイを点灯させるには、電源ボタンを押すか、ペンまたはイレーザを手に取ります。

一定期間、室内の無人状態が続くと、ディスプレイはスタンバイモードになります。



ホームボタン

ホームボタンをタップするとホーム画面が開きます。ホーム画面から、iQのアプリや設定画面を開くことができます。

ペンとイレーザ

ディスプレイには黒、赤、青、緑のペンが付属しています。それぞれのペンにはイレーザとインジケータランプが付いています。



ディスプレイには、ペンのほか、画面上の広範囲を消すためのイレーザが付属しています。



操作パネル

操作パネルには、ディスプレイのON/OFF操作やボリューム調整用のボタンがあります。また、USB接続周辺機器およびコンピュータやその他入力源用のコネクタも備えています。

iQコントローラ (およびIntel Compute Card)

以下のモデルでは、iQコントローラは背面のアクセサリスロットに接続されています。

- SBID-7275
- SBID-7286
- SBID-7275P

- SBID-7286P
- SBID-7375
- SBID-7386
- SBID-7375P
- SBID-7386P

iQテクノロジーを利用して、様々な共同作業ツールにアクセスすることができます。

SBID-7375、SBID-7386、SBID-7375P、およびSBID-7386PモデルのコントローラにはIntel Compute Cardが付属し、外付けPCや配線不要で、Windows 10が対応するすべての機能を指一本で操作することができます。

⚠ 注意事項

アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには、電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 60950-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。

ヒント

SMARTサポートサイトの[Q機器のモデルを識別ウィザード](#)を使用して、iQコントローラのモデルを識別します。

内蔵スピーカー

本ディスプレイには、10Wスピーカーが2台内蔵されています。外付けスピーカーも接続できます (27 ページ外付けスピーカーの接続参照)。

アクセサリ

ディスプレイには、次のアクセサリが付属しています。

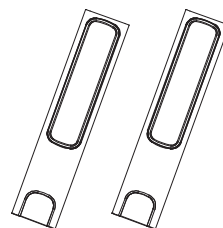
- SBA-100プロジェクションオーディオシステム
- SMART Audio 400教室用アンプシステム
- USB延長ケーブル

SBA-100オーディオシステム

🎓 教育用モデル限定

SBA-100オーディオシステムは、14Wスピーカー2台で構成し、教育機関向けの壁面設置型モデルに対応しています。ボリューム調整は、ディスプレイの操作パネルまたは接続したコンピューターのボリュームコントローラで行います。

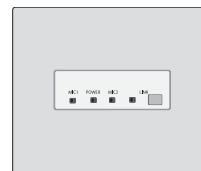
詳細に関しては、*SBA-100オーディオシステムの仕様* (smarttech.com/kb/171146) を参照してください。



SMART Audio 400教室用音響システム

教育用モデル限定

SMART Audio 400教室用音響システムは教育機関向けモデルに対応した、高品質の音声増幅機能を提供する製品です。教師用マイクとオプションの生徒用マイクが付属しています。壁型および天井型スピーカーで構成する、マルチスピーカーオプションも選択可能です。アンプがマイクから受信したオーディオ信号を、スピーカーが鮮明な音で再現します。



詳細に関しては、*SMART Audio 400教室用音響システムの仕様* (smarttech.com/kb/171137) を参照してください。

USB延長ケーブル

26 ページ室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続で説明しているとおり、ディスプレイとコンピューター間のUSB接続距離は5 m以内にしてください。5 m以上離れた場所のコンピューターと接続する場合は、次のいずれかのUSB延長ケーブルを使用してください。

延長ケーブル	仕様
USB-XT	smarttech.com/kb/119318
CAT5-XT-1100	smarttech.com/kb/170202

詳細情報

本ガイドに加え、SMARTは、ディスプレイ用に次の資料をご用意しています。

文書	リンク
仕様と比較	
SBID-7075	smarttech.com/kb/171131
SBID-7086	smarttech.com/kb/171132
SBID-7275	smarttech.com/kb/171133
SBID-7286	smarttech.com/kb/171134
SBID-7375	smarttech.com/kb/171320
SBID-7386	smarttech.com/kb/171319
SBID-7075P	smarttech.com/kb/171211
SBID-7086P	smarttech.com/kb/171212
SBID-7275P	smarttech.com/kb/171213
SBID-7286P	smarttech.com/kb/171214
SBID-7375P	smarttech.com/kb/171318

文書	リンク
SBID-7386P	smarttech.com/kb/171317
AM30	smarttech.com/kb/171097
AM40	smarttech.com/kb/171182
AM50	smarttech.com/kb/171263
比較	smarttech.com/kb/171161
設置手順	
SBID-7075、7275、7375、7075P、7275P、および7375P	smarttech.com/kb/171160
SBID-7086、7286、7386、7086P、7286P、および7386P	smarttech.com/kb/171232
AM30	smarttech.com/kb/171090
AM40	smarttech.com/kb/171199
AM50	smarttech.com/kb/171294
クイックリファレンスおよびガイド	
クイックリファレンス	smarttech.com/kb/171162
ユーザーズマニュアル	smarttech.com/kb/171163

これらの文書はSMARTのウェブサイト (smarttech.com/support) のSupportの項目にあります。本ガイドのQRコードを読み取ることで、サポートにあるSMART Board 7000および7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイのページにアクセスできます。

第2章

ディスプレイの設置

ディスプレイの設置場所への移動	16
移動用の補助具の使用	17
出入り口、廊下、エレベーターでの移動	17
割れ、欠け、砕けたガラスの処置	18
納品時の梱包材の保管	18
壁へのディスプレイの設置	18
設置場所の選択	19
設置高さの選択	21
壁の状態	21
取付金具の選定	21
ウォールマウントの選択	21
ディスプレイの取付け	22
複数のディスプレイの取付け	23
スタンドにディスプレイを設置します。	23
SMART可動スタンドの使用	23
サードパーティー製スタンドの使用	23

SMARTはディスプレイを設置する設置者の方のみが訓練するのを推奨します。

本章は設置作業向けに作成されています。設置作業を行う人は、本章の情報と製品付属の設置手順書をよく読んで上で設置作業を開始してください。

警告

ディスプレイの不適切な設置は、怪我や製品の損傷の原因になります。

ディスプレイの設置場所への移動

ディスプレイが届いたら、設置を予定している場所に移動させる必要があります。

最初にディスプレイを設置した後、別の場所に移動する必要がある場合もあります。

重要事項

- ディスプレイの移動はお客様の責任で行ってください。SMARTは、ディスプレイの移動中に生じた製品への損傷や作業者の怪我については責任を負いません。

- ディスプレイの移動は、次のように行ってください。
 - 設置場所の安全規則と基準にしたがってください。
 - 元の梱包にディスプレイを保管してください。
 - 上のフレームを上に向けて状態で、ディスプレイを移動します。
 - ディスプレイの移動は、少なくとも2人で行ってください。

ヒント

ディスプレイの梱包材に前面を示すラベルが付いている場合があります。移動中の箱の向きを決める際、梱包に"FRONT"の表示を探してください。

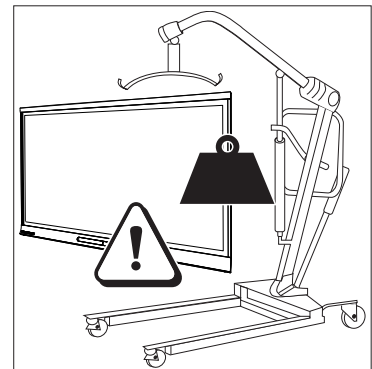
移動用の補助具の使用

ディスプレイの移動には、次のような補助装置を使用することができます。

- カート
- 家具用台車
- 吊り上げ装置

注記

大型で、重量のあるモデルには、吊り上げ装置で使用するアイボルト 取付穴があります。吊り上げ装置の使用方法に関しては、当該モデルの設置手順を参照してください。



出入り口、廊下、エレベーターでの移動

状況によっては、狭い出入り口や廊下、エレベーターに通すためにディスプレイの保護材を外す必要もあります。このような場合、SMARTでは、ディスプレイ下側の角部の緩衝材は外さないでおくことを推奨します。これは、移動中にディスプレイをいったん床に降ろす必要が生じた際に、ディスプレイを保護するためです。

また、ディスプレイを横向きにする必要がある場合もあります。ディスプレイは移動のために横向きにすることはできますが、設置は必ず縦向きに(上枠が上側になるように)しなければなりません。

割れ、欠け、砕けたガラスの処置

ディスプレイには安全強化ガラスが使用されています。このガラスは衝撃に耐える熱強化ガラスですが、相当な力で衝撃が加わると割れたり欠けたり、粉々に砕けることがあります。(強化ガラスは、割れても鋭利な破片にはならず細かく砕けるようにできています。)温度変化によって小さなひび割れや断片が広がり、ガラスが粉々に砕けることもあります。使用していない場合でもディスプレイのガラスが粉碎する状況については、ナレッジベースの記事、[インタラクティブディスプレイのガラスの破損](#)を参照してください。

ディスプレイのガラスに割れや欠けが生じた場合、専門的な検査の上でSMART認定の修理センターで修理を行います。ディスプレイのガラスが粉碎した場合は、周辺を丁寧に掃除し、ディスプレイを修理または交換してください。

注意事項

ガラスに割れや欠けが生じたり粉碎した場合は、安全上の理由および損傷が悪化することを防ぐため、ディスプレイの設置作業や使用を中断してください。

納品時の梱包材の保管

納品時に付属していた梱包材は、いったん設置したディスプレイを再度移動させる時に使うために、できるだけ保管しておいてください。この梱包材には、衝撃や振動からディスプレイを保護する目的があります。

注意事項

ディスプレイの移動時には、納品時の梱包材または、SMARTの認定販売業者から購入した交換用の梱包材のみを使用してください。正しい梱包材で保護せずにディスプレイを移動すると、ディスプレイが損傷し、保証が無効になる場合があります。

注記

納入時の梱包材を使用できない場合には、同じ梱包材を、SMART認定販売店から直接ご購入いただけます(smarttech.com/where)。

壁へのディスプレイの設置

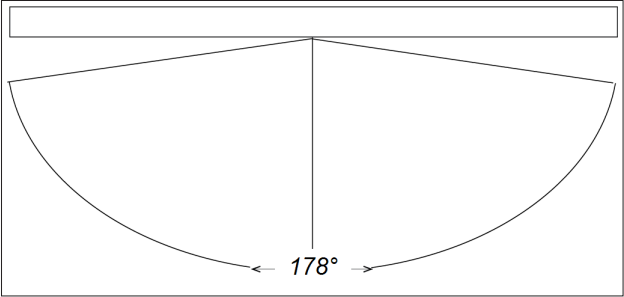
基本的に、ディスプレイは教室や会議室の壁に設置します。

設置場所の選択

ディスプレイは通常、教室や会議室の正面などの部屋の中心となる位置に設置します。

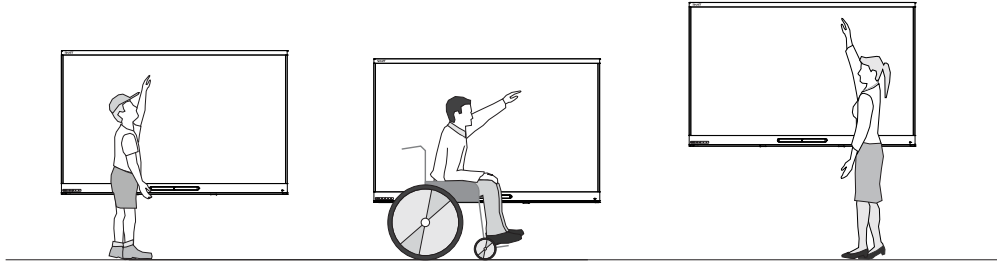
ディスプレイを快適に利用できるよう、ディスプレイに最適な設置場所を選ぶことが重要です。設置場所の選定について、次の要素を考慮してください。

要素	検討内容
室内の状態	<ul style="list-style-type: none">・ 車椅子の人も含めたユーザーがアクセスできる場所。 地域のバリアフリーに関する規則を参考にしてください。・ 一度に複数の人がディスプレイにアクセスできる場所。・ 人の動線を考慮し転倒の危険性がない場所。・ ドアやゲートがぶつかるおそれのある場所には設置しない。・ ディスプレイにぶつかるおそれのある、扉や引出しの付いた棚や机等の家具が近くにない場所。・ 家具、壁の装飾、その他照明のスイッチや温度計等の室内の用品とディスプレイが、互いに邪魔にならない場所。(移動できるものがあれば、移動させた上でディスプレイを設置してもよい。)
電源その他の接続	<ul style="list-style-type: none">・ 次の各項目に近い場所:<ul style="list-style-type: none">○ 電源コンセント○ ネットワーク接続 (有線ネットワーク接続を使用する場合)○ 室内のコンピューター (室内のコンピューターに接続する場合)○ ディスプレイに接続するスピーカーやその他のデバイス <hr/> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none">○ 近くに電源コンセントがない場合、電気工事業者に相談してください。○ 電源タップ、追加のケーブルや延長ケーブルなどが必要かどうかを判断してください。 <hr/> <ul style="list-style-type: none">・ 建物の主電源の引き込み口ではない。

要素	検討内容
見やすさ	<p>室内の全員からディスプレイがはっきり見える。SMARTでは、178°の視野角内に座ることを推奨します。</p>  <p>注記</p> <p>画面の見える範囲は、ディスプレイの解像度のほか様々な要因により異なります。詳細に関しては、ナレッジベースの記事、SMART Board インタラクティブディスプレイの推奨視聴距離と角度を参照してください。</p>
照明	<p>窓際や強力な天井照明などの明るい光源から離れた場所。 光源によりディスプレイの画面にグレアが生じることがあり、これにより視界が制限されます。</p> <p>ヒント</p> <p>光の干渉を低減するには、窓や天窗にブラインドやシェードを設置し、ディスプレイ画面に光が届く照明については調光や消灯操作の可能なスイッチを設置します。太陽光は、季節により窓から差し込む角度が異なることに注意してください。</p>
音響	<p>部屋の音響が良好である(最高のオーディオパフォーマンスを得るためのSMART Board 7000または7000 Proの設定を参照)。</p>
環境と換気	<ul style="list-style-type: none">・ディスプレイの仕様書にある環境要件を満たしている場所 (14 ページ詳細情報を参照)。・ディスプレイが強い振動や塵にさらされない。・換気装置の空気がディスプレイに直接吹き付けない。・ディスプレイ周辺に、ディスプレイと取付具から熱を逃すための十分な換気または空調が設置されている。SMARTでは、適切な空気の流れを確保するために、ディスプレイの全周に5cm以上のスペースを確保することを推奨しています。・ディスプレイを凹んだ場所に設置する場合、換気や冷却のため、その壁とディスプレイとの間に10cm以上のスペースを確保してください。

設置高さの選択

ディスプレイの設置高さは、使用者全体の平均的な高さを考慮した上で決定します。



SMARTでは、ディスプレイの最上部が床から1.9メートルの高さになる位置に設置されることを推奨しています。

注記

参加者が(階段教室等の)急な傾斜のある場所に座る場合、設置高さや角度を調整する必要があります。

壁の状態

ディスプレイを設置する壁面が、ディスプレイや取付具の重量を支えられるかどうかを確認してください。壁がディスプレイと取付具の重量を支えることができない場合は、一部の重量を壁から床に分散するSMARTウォールスタンドの使用を(smarttech.com/accessoriesを参照)検討してください。

注記

ディスプレイの質量は、仕様を参照してください(14 ページ詳細情報を参照)。

状況により、壁がディスプレイを支えられるかどうかを判断するために、専門的な調査の依頼が必要になる場合があります。

取付金具の選定

設置に必要な取付金具は、ディスプレイを取り付ける壁の種類によって異なります。

ディスプレイに必要な取付金具については、設置手順を参照してください。

ウォールマウントの選択

ディスプレイの最適な設置場所は、壁です。壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、追加の金具を使用して、重量の一部を床面に逃がします。

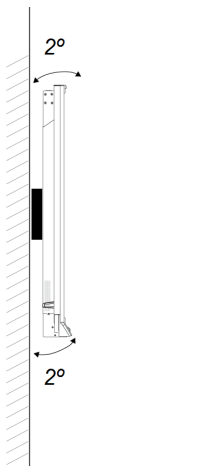
SMARTの取付オプションの詳細につきましては認定SMART販売代理店(smarttech.com/where)にお問い合わせください。

SMARTが提供する設置方法ではなくサードパーティ製の製品を使用して設置する場合、ウォールマウントがディスプレイの重量とアクセサリ重量の両方に耐えられることと、ディスプレイの寸法に適していることを確認してください。

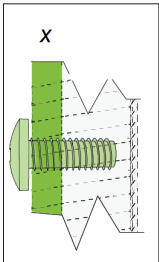

ディスプレイの取付け

同梱されている取扱説明書に従ってディスプレイを取り付けます。さらに、以下をご考慮ください。

- ディスプレイは垂直方向に(床を基準としてプラス90°または許容差マイナス2°)、横向きに取り付けます。SMARTは、他の角度や縦向きのディスプレイの取り付けをサポートしていません。



- 標準的なVESAの取り付け板を使用します。
- 壁のブラケットの固定にはM8ボルト(付属していません)を使用します。

ボルトの長さ	12mm+xmm<M8<45mm+x mm xは、壁用ブラケットと座金の合計の厚み 
固定力	97.36–177.01ポンド。(11–20N・m) <div> 注意事項 ボルトを締め付けすぎないでください。</div>

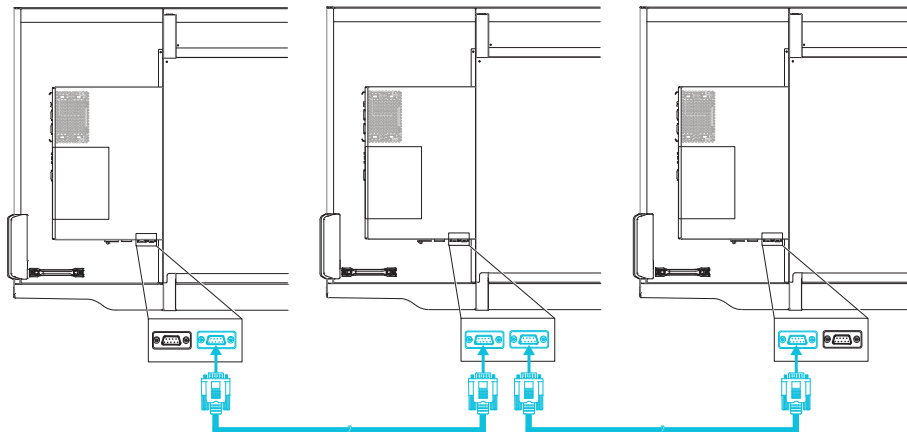
注記

SMARTでは、壁の取り付けブラケットとワッシャーの厚さの合計が7mm未満のものを規格の取り付け用とするM8×30mm取り付けボルトをお勧めします。

- ディスプレイの設置後はレセプタクル等に手が届きにくくなることもあるため、ディスプレイに保護材が付いている段階で電源や室内のコンピューターその他デバイスを接続しておくことも検討してください(24 ページ電源とデバイスの接続参照)。

複数のディスプレイの取付け

複数のディスプレイを並べて取り付けけた場合、右端のディスプレイRS-232 出力コネクタの隣の右端のディスプレイのRS-232 入力コネクタなどからRS-232ケーブルを接続でき、電源のON、OFF、その他は右端のディスプレイのコンベニエンスパネルからすべてのディスプレイを操作します。



重要事項

標準RS-232ケーブル以外は使用しないでください。ヌルモデムケーブルは使用しないでください。ヌルモデムケーブルは両端のコネクタの形状が同じです。

注記

リモート管理用のRS-232ケーブルの使用の詳細に関しては、58 ページディスプレイのリモート管理を参照してください。

スタンドにディスプレイを設置します。

ディスプレイを移動したい場合や壁にディスプレイを設置できない場合は、スタンドに設置することができます。

SMART可動スタンドの使用

SMART可動スタンドは、SMARTインタラクティブディスプレイ用に設計されています。高さ調整機能が付いています。一部のモデルには、内蔵スピーカーや、機器を固定するロック機能付きキャビネット、回転や固定を容易に行えるキャスターなどが付属しています。

SMART可動スタンドの詳細に関しては、smarttech.com/accessories を参照してください。

サードパーティー製スタンドの使用

サードパーティー製のスタンドの選択および使用については、[SMART Board 7000または7000 Proのスタンドへの設置](#)をご参照ください。

第3章

電源とデバイスの接続

電源の接続	24
ネットワークへの接続	25
Intel Compute Cardの接続	25
室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続	26
外付けスピーカーの接続	27
室内コントローラの接続	28
ディスプレイの接続ポート	28
ディスプレイ操作パネル上の接続ポート	29
iQコントローラの接続ポート	30
その他コネクタ	32

ディスプレイを設置後、電源を接続しますが、電源をオンにする前にiQコントローラの設定を行ってください。室内のコンピューターやゲストのノートPC、その他入力源の接続、スピーカーや室内の各種コントローラ等の接続もこの段階で行います。

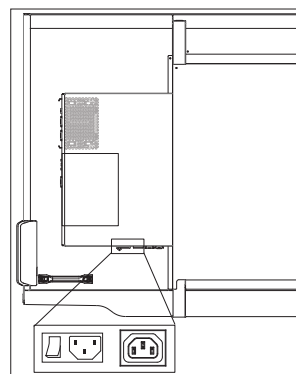
ディスプレイを壁に搭載した後は、接続ポートに手が届きにくくなることもあるため、これらの周辺機器等のケーブルを先に接続しておきます。接続したケーブルは、適宜、床や壁裏などに配線します。

警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

電源の接続

付属の電源ケーブルでコンセントとディスプレイ下部のAC電源入力を接続します。



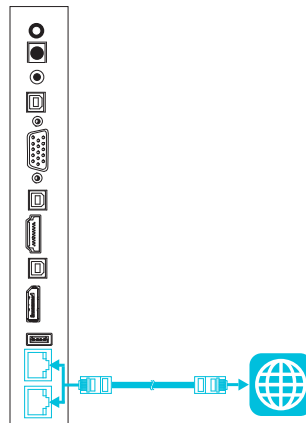
注記

電源条件と消費電力の情報は、製品仕様書 (14 ページ詳細情報) を参照してください。

ネットワークへの接続

ディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアの更新をダウンロードするためのネットワーク接続が必要で、iQコントローラのアプリルもネットワーク接続を必要とします。Wi-Fi接続 / ディスプレイのRJ45ジャックを使用して、ネットワークに接続することができます (写真)。

ディスプレイのネットワーク接続と設定の詳細に関しては、[connecting-to-a-network.htm](#)を参照してください。

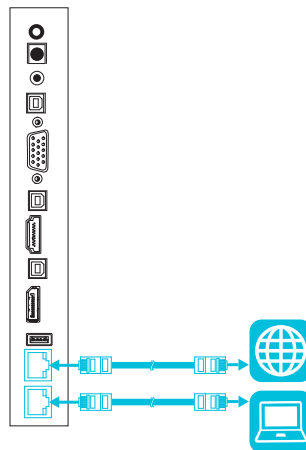


重要事項

ネットワークへの接続に、iQコントローラのRJ45ジャックを使用しないでください。

ヒント

ディスプレイのRJ45ジャックをネットワークへの接続に使用する場合、コンピューターからネットワークへのアクセス用に別のRJ45ジャックを接続することができます。これは室内に有線ネットワーク接続がつかない場合に役立ちます。



Intel Compute Cardの接続

SBID-7375、SBID-7386、SBID-7375P、およびSBID-7386Pモデルには、Intel Compute Cardが付属しています。Intel Compute CardをiQコントロールのスロットに挿入すると、ディスプレイからWindows 10オペレーティングシステムにアクセスできます。

ヒント

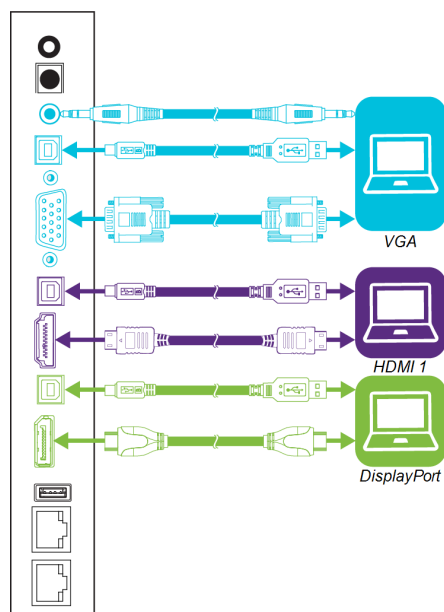
キーボードやマウスなどのアクセサリも、iQコントローラのUSBポート経由でIntel Compute Cardに接続することができます。

室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他入力源のケーブルの接続

室内のコンピューター、ゲストのノートPC、その他Blu-ray™ディスクプレイヤーなどのデバイスを、ケーブルを使用してディスプレイに接続できます。

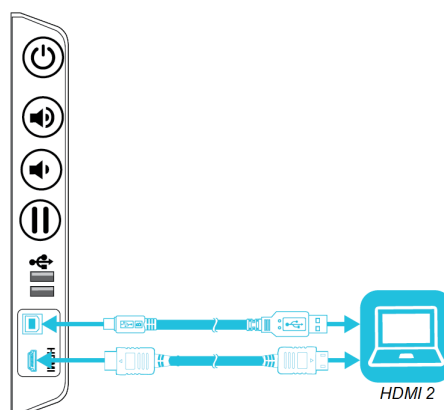
コネクタパネルには、コンピューターのコネクタが3つ含まれています。

- **VGA:** このポートは、タッチ操作用のVGAケーブル、ビデオ用のUSBケーブル、オーディオ用の3.5 mmステレオケーブルに対応しています。
- **HDMI 1:** このポートは、タッチ操作用のUSBケーブルと、ビデオおよびオーディオ用のHDMIケーブルに対応しています。(このポートはHDMI 2.0に対応)
- **DisplayPort:** このポートは、タッチ操作用のUSBケーブルと、ビデオおよびオーディオ用のDisplayPortケーブルに対応しています。



コンピューターの3つのポート以外に、操作パネルにもポートが搭載されています。

HDMI 2: タッチ操作用のUSBケーブルと、ビデオおよびオーディオ用のHDMIケーブルに対応しています。(このポートはHDMI 1.4に対応)



重要事項

iQコントロールに、コンピューターまたはその他のデバイスを接続しないでください。SMART Board 7000シリーズインタラクティブディスプレイは、これらの機器の接続に対応していません。

SMARTは以下のケーブルの使用を推奨しています。

ケーブル種類	最大長さ	推奨
HDMI	7m ¹	必要な性能基準に対応した試験に合格した、認証済HDMIケーブルのみを使用してください。
DisplayPort	7 m	DisplayPort 1.2 準拠またはそれ以上のケーブルを使用してください。
VGA	7 m	ピンが完全で断線のないVGAケーブルを使用してください。
3.5 mmステレオ	6 m	[N/A]
USB	5 m	コンピューターとディスプレイの間の距離が5mを超える場合、USB延長ケーブルを使用します。詳細に関しては、14 ページ USB 延長ケーブルを参照してください。

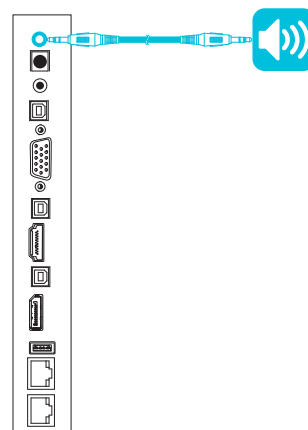
これらの最大長さを超えるケーブルを使用すると、画質の低下やUSB接続の劣化といった予期しない結果につながる場合があります。

SMARTソフトウェアは、ディスプレイに接続しているコンピューターにインストールしてください。SMARTソフトウェアのインストールおよび、接続済みコンピューターのディスプレイへの表示に関しては、SMART Board 7000 / 7000 Proシリーズインタラクティブディスプレイユーザズガイド (smarttech.com/kb/171163) を参照してください。

外付けスピーカーの接続

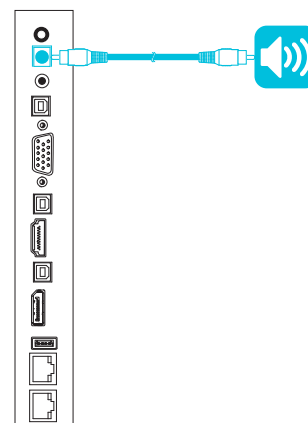
ディスプレイには10Wスピーカー2台が付属し、これらスピーカーは室内の正面で音を出すよう設計されています。より広い空間でディスプレイを使用する場合には、SBA-100プロジェクションオーディオシステム(13 ページSBA-100オーディオシステム) やサードパーティ製の外付けアクティブ型スピーカーも使用できます。

外付けスピーカーの接続には、3.5 mmステレオ出力ポートを使用します (図)。室内のコンピューターに直接外付けスピーカーを接続することもできます。



¹7m以上のケーブルの性能はケーブルの品質に大きく依存します。

ディスプレイには、3.5mmステレオ出力ポートのほか、ソニー/フィリップスデジタルインターフェース(S/PDIF)出力ポートも搭載されています。S/PDIFは、デジタルオーディオを伝送する媒体です。外付けスピーカーで使用するためには、アナログ変換するためのS/PDIFに対応したオーディオ信号受信機が必要です。



室内コントローラの接続

室内制御システムでは、部屋の照明、オーディオシステムとディスプレイを制御することができます。一部の設置のケースでは、ディスプレイを室内制御システムと統合させる必要があります。外部部屋制御システムでもこれが有効かどうかについては、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

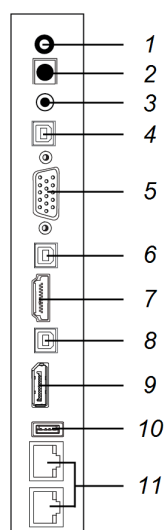
ディスプレイのRS-232コネクタを使用して、サードパーティ製の外付けコントローラをディスプレイに接続することができます(58 ページディスプレイのリモート管理を参照)。

注記

ディスプレイは、ユニバーサルリモートコントロールなどの一元的な遠隔制御システムとの互換性はありません。

ディスプレイの接続ポート

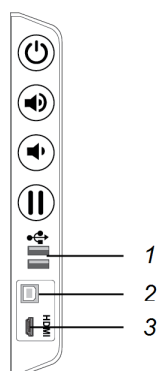
下の図表で、ディスプレイのコネクタパネルを説明します。



No.	コネクタ	接続先	注
1	3.5 mmステレオ出力	外付けスピーカー	27 ページおよび アナログオーディオケーブルとコネクタ を参照してください。
2	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	27 ページおよび デジタルオーディオケーブルとコネクタ を参照してください。
3	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	26 ページおよび アナログオーディオケーブルとコネクタ を参照してください。
4	USB Type-B	VGA入力 (タッチ)	26 ページおよび USBケーブルおよびコネクタ を参照してください。
5	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	26 ページおよび VGAケーブルおよびコネクタ を参照してください。
6	USB Type-B	HDMI 1入力 (タッチ)	26 ページおよび USBケーブルおよびコネクタ を参照してください。
7	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	26 ページおよび HDMIケーブルおよびコネクタ を参照してください。
8	USB Type-B	DisplayPort入力 (タッチ)	26 ページおよび USBケーブルおよびコネクタ を参照してください。
9	DisplayPort IN	DisplayPort入力 (ビデオおよびオーディオ)	26 ページおよび DisplayPort用ケーブルとコネクタ を参照してください。
10	USB Type-A	[N/A]	このコネクタはサービスポートです。
11	RJ45 (×2)	ネットワーク	25 ページおよび Ethernet (ネットワーク) ケーブルとコネクタ を参照してください。

ディスプレイ操作パネル上の接続ポート

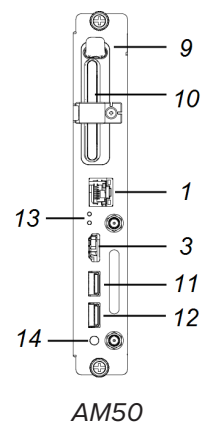
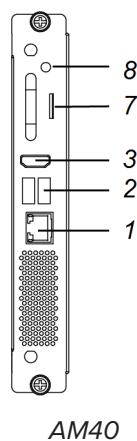
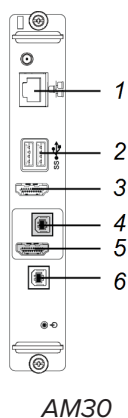
ディスプレイの操作パネルにある接続ポートは、下図と表のとおりです。



No.	コネクタ	接続	注
1	USB Type-A (×2)	対応する周辺機器	USBケーブルおよびコネクタを参照してください。
2	USB Type-B	HDMI 2入力 (タッチ)	26 ページおよびUSBケーブルおよびコネクタを参照してください。
3	HDMI 1.4 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	26 ページおよびHDMIケーブルおよびコネクタを参照してください。

iQコンローラの接続ポート

次の略図と表はiQ機器でコネクタを表しています。



No.	コネクタ	接続先	注
1	RJ45	ネットワーク	このジャックは使用しないでください。代わりにディスプレイ側のジャックを使用してください。25 ページを参照してください。
2	USB Type-A (×2)	対応している周辺機器	[N/A]
3	HDMI出力	外付けモニタ	このレセプタクルはHDCP暗号化HDMIです。 HDMIケーブルとコネクタを参照してください。
4	USBタイプB	OPS/HDMI入力(タッチ)	このレセプタクルは使用しないでください。代わりにディスプレイ側のレセプタクルを使用してください。26 ページを参照してください。

No.	コネクタ	接続先	注
5	HDMI入力	OPS/HDMI入力端子(ビデオと音声)	このレセプタクルは使用しないでください。代わりにディスプレイ側のレセプタクルを使用してください。26 ページを参照してください。
6	USB タイプ-B	該当なし	このレセプタクルはサービスポートです。
7	Micro SD	該当なし	このレセプタクルはサービスポートです。
8	LED	[N/A]	iQコントローラがアクセサリスロットに搭載されてONになっている場合、LEDが緑色に点灯します。
9	取り出しボタン	該当なし	このボタンでIntel Compute Cardを取り出します。 Intel Compute Cardの取り出し を参照してください。
10	Intel Compute Card	[N/A]	iQコントローラ (AM50) 専用。
11	USB Type-A	対応している周辺機器	iQコントローラ (AM50) 専用。このレセプタクルに接続されている周辺機器は、Windows 10オペレーティングシステムで使用可能です。 入力の使用 を参照してください。
12	USB Type-A	対応している周辺機器	iQコントローラ (AM50) 専用。このレセプタクルに接続されている周辺機器は、iQの機能で使用可能です。 26 ページを参照してください。
13	Lock (ロック) およびEject (取り出し) LED	[N/A]	Lock (ロック) LEDは、iQコントローラ (AM50) をディスプレイから取り外すことができないときに点灯します。 Eject (取り出し) LEDは、iQコントローラ (AM50) をディスプレイから安全に取り外せるときに点灯します。 Intel Compute Cardの取り出し を参照してください。
14	Power (電源) LED	[N/A]	iQコントローラがアクセサリスロットに挿入されONになっていると、LEDが点灯します。
画像なし			
13	Intel Compute Cardラベル	該当なし	iQコントローラ (AM50) 限定。 Intel Compute Card用のラベル。ラベルには、“Assembly, PC, AM50”と表示されています。

No.	コネクタ	接続先	注
13	iQコントローラ (AM50)	該当なし	iQコントローラ (AM50) 限定。 iQコントローラ (AM50) 用のラベル。ラベルには、“Model / AM50” と表示されています。

注記

古いモデルのiQコントローラ (AM30) にはすべてのコネクタは搭載されていません。

その他コネクタ

ディスプレイ下側にも各種接続ポートが搭載されています (23 ページ複数のディスプレイの取付けおよび58 ページディスプレイのリモート管理を参照)。

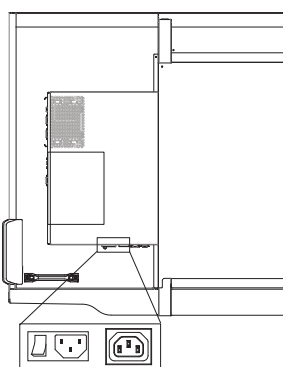
第4章

ディスプレイの電源をオンにする (初回)

ディスプレイ設置し、電源装置と各種デバイスを接続した後、電源を入れます。

ディスプレイへの初回電源投入と設定

1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフックします。



2. 希望の言語を選択し、**次へ**をタップします。
3. 国名を選択し、**次へ**をタップします。
4. タイムゾーンを選択し、**次へ**をタップします。
5. 日付を設定し、**次へ**をタップします。
6. 時刻を設定し、**次へ**をタップします。
7. ディスプレイに名前を付け、**次へ**をタップします。
8. ディスプレイで有線ネットワーク接続を使用しない場合、無線ネットワークを選択し、**次へ**をタップします。
9. ランチャーに表示するアプリケーションの一覧を選択し、**次へ**をタップします。アプリの詳細に関しては、[SMART Board 7000シリーズインタラクティブディスプレイのユーザーズガイド \(smarttech.com/kb/171163\)](https://smarttech.com/kb/171163)を参照してください。
10. ランチャーに表示させたいアプリを選択し、**次へ**をタップします。

ヒント

ランチャーに表示させるアプリを変更する手順は、[ランチャーに表示するアプリの追加と削除](#)を参照してください。

11. **完了**をタップします。
ようこそ画面が表示されます。

第 5 章

ディスプレイのメンテナンス

ディスプレイの設置状態の確認	34
画面のクリーニング	34
通気の確保	35
結露の防止	35
ペンおよびレーザーの交換	35
ディスプレイの消灯と点灯	36
ディスプレイのリセット	36
ディスプレイの取り外しと移動	36
システムソフトウェアの更新	37
システムソフトウェアの自動更新を手動で適用	38
システムソフトウェアの手動更新	38

ディスプレイを適切に使用することで、長期間使用することができます。

ディスプレイの設置状態の確認

確実に設置され続けるように確保するディスプレイの設置を頻繁に検査します。

- 時間の経過とともに発生するダメージや弱さの兆候について取り付け位置を確認します。
- 取り付けハードウェアで発生する可能性があるネジの緩み、ギャップ、歪みやその他の問題をチェックします。

問題を見つけた場合は、訓練を受けた設置者にお問い合わせください。

画面のクリーニング

防眩コーティングやその他の製造部品を損なうことが無く、画面をきれいにするこれらの手順に従います。

注意事項

- 画面に油性マーカーまたはホワイトボードマーカーを使用しないでください。ホワイトボードマーカーを画面で使用する場合は、糸くずの無い、非研磨布でできるだけ早くインクを落とします。
- 高密度または粗度材を使って画面をこすらないでください。
- 画面に圧力を与えないでください。
- 劣化したり画面が変色する可能性がありますので、画面に洗浄液やガラスクリーナーを使わないでください。

画面をきれいに

1. ディスプレイをOFFにします (see 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照)。
2. 画面を糸くずの無い、非研磨布でふき取ります。

注記

または、皿の石鹸の一滴で湿らせた布を使用できます。

通気の確保

ディスプレイには、適切な換気が必要です。換気口で積み重なるほこりが冷却を損ね、製品の故障につながる可能性があります。

- 乾いた布で毎月アクセス可能な通気孔をクリーニングします。
- 背面の換気口を定期的に清掃する狭いホースの先端が適合する電気掃除機を使用します。壁からディスプレイを取り外す必要がある場合があります。

ディスプレイの取り外しの詳細に関しては、36 ページディスプレイの取り外しと移動を参照してください。

注意事項

過度にほこりや湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイの設定や使用を避けてください。

結露の防止

ディスプレイを寒い環境から暖かい環境に移動した場合(例えば倉庫から設置場所)、ディスプレイを数時間そのままにし、新しい温度に適應させてください。適應のための時間を取らないと、フロントガラスとCDの間で湿気が発生する可能性があります。

ディスプレイをオンにした後で結露が画面の下に発生する場合、アクティブなビデオソースを選択し、ディスプレイを48時間オンにしたままにします。結露が放散されない場合、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

レイヤー間の湿気が多く、水分が滴り落ちたり流れ出る場合には、すぐに電源を切り、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

ペンおよびイレーザーの交換


ディスプレイの反射防止コーティングを傷めないよう、ペン先やイレーザーのパッドが摩耗したペンは交換してください。交換用のペンおよびイレーザーは、SMARTのパーツストア (smarttech.com/Support/PartsStore) から購入できます。

ディスプレイの消灯と点灯

ディスプレイは、SMART Board 7000 / 7000 Pro シリーズインタラクティブディスプレイのユーザーズガイド (smarttech.com/kb/171163) に説明のとおり、使用していない間はほぼいつでもスリープ状態にすることができます。

ディスプレイの移動中や画面をクリーニングする間は、ディスプレイをOFFにする必要があります。ディスプレイは後で点灯させることができます。

ディスプレイの電源をOFFにする

1. 操作パネルで、電源ボタン  を4秒間押します。
画面上にスライダーが表示されます。
2. スライダーを右に動かします。

注記

30秒以上待ってから、ディスプレイの電源をONにします。

ディスプレイの電源を入れる

操作パネルで、電源ボタン  を押します。

ディスプレイのリセット

操作パネルを使用して、ディスプレイとQコントローラをリセットできます。

ディスプレイをリセットする

操作パネルで、電源ボタン  を10秒間押し続けます。

ディスプレイとQコントローラがリセットされます。

ディスプレイの取り外しと移動

壁に設置したディスプレイを、現在の場所から取り外して別の場所に移動する必要がある場合があります。

ディスプレイの安全な取り外しと移動は、訓練を受けた2名以上の作業者が行ってください。

警告

- 一人でディスプレイを移動させようとししないでください。ディスプレイはかなりの重量物です。
- 背面のハンドルにロープやワイヤをつないでディスプレイを動かさないでください。ディスプレイが転倒し、怪我や製品の損傷につながる可能性があります。

重要事項

サードパーティ製の取付金具に付属されているマニュアルに従ってください。

ディスプレイの取り外し

1. 接続されているコンピューターの電源をオフにします。
2. ディスプレイの電源をオフにします (36 ページディスプレイの消灯と点灯参照)。
3. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。
4. 手が届くすべてのケーブルとコネクタを取り外します。
5. アクセサリスロットからiQコントローラを取り外します。
6. ディスプレイを持ち上げます。

警告

傾いていたり安定しない台車やスタンド、テーブルの上にディスプレイを置かないでください。ディスプレイが転倒して、負傷したり製品が大きく損傷したりするおそれがあります。

注意事項

ディスプレイの画面を長期間、上や下に向けた状態、または上下逆の状態で放置しないでください。画面に回復不能な損傷が生じるおそれがあります。

7. 取り付けブラケットを取り外します。

ディスプレイを移動させる

16 ページディスプレイの設置場所への移動を参照してください。

システムソフトウェアの更新

システムのソフトウェアまたはファームウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、4分かけて更新をインストールし、その間ディスプレイ動作は無効になります。インストール実行前には2分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも停止できます。カウントダウンが終了すると更新が開始します。画面は4分間、空白になります。更新が完了すると、ディスプレイにはホワイトボードと更新以前に表示されていた内容が表示されます。


注記

ディスプレイ設置場所のネットワークを、ソフトウェアとファームウェアの自動更新を許可または禁止するよう設定することができます ([ネットワークへの接続](#)参照)。

システムソフトウェアの自動更新を手動で適用

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

自動システムソフトウェアの更新を手動で適用する

1. ホーム画面で、**設定**  をタップします。
設定ウィンドウが表示されます。
2. **自動更新**までスクロールします。
3. **更新プログラムを今すぐ確認**の下にある、**更新を今すぐ適用**をタップします。
ディスプレイが消灯したあと再び点灯します。この後、ディスプレイに更新が適用されます。
ペンのファームウェアの更新がある場合、ペンのインジケータライトが緑色または黄色で点滅します。ペンのライトが連続点灯になるまで、そのままトレイに放置してください。

システムソフトウェアの手動更新

smarttech.com/downloadsでシステムのソフトウェアの更新をダウンロードし、USBドライブを使用してディスプレイを更新します。

第 6 章

トラブルシューティング

電源の問題解決	40
存在検知の問題解決	40
ビデオの問題解決	41
画質の問題解決	41
オーディオの問題解決	43
タッチおよびデジタルインクの問題解決	43
iQの問題解決	44
Intel Compute Cardの問題解決	44
ソフトウェアの問題解決	44
その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください	45
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	45
ディスプレイのシリアル番号の場所	45
iQコントローラのシリアル番号の場所	45

本章では、以下の、ディスプレイのよくある問題の解決方法を説明します。

- 電源
- 存在検知
- ビデオ
- 画質
- オーディオ
- タッチおよびデジタルインク
- iQの使用
- Intel Compute Card
- ソフトウェア

電源の問題解決

問題	解決法
ディスプレイと、その電源ランプが点灯しません。	<ul style="list-style-type: none">電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。 <div>注記 電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。</div> <ul style="list-style-type: none">AC電源差込口の横にあるスイッチが$\text{\textcircled{I}}$の位置でONになっていることを確認します。別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。
ディスプレイがONになり、電源ライトが点灯しましたが、画面に何も表示されません。	<ul style="list-style-type: none">ペンを使うか、電源ボタンを押します。41 ページビデオの問題解決をご参照ください。ディスプレイを再起動します。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。
コンピューターのマウスまたはキーボードを使用する際に、ディスプレイがONになりません。	<ul style="list-style-type: none">コンピューターがオンになっていることを確認します。ペンを使うか、ディスプレイの電源ボタンを押します。
その他の電源の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。	45 ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してくださいを参照してください。

存在検知の問題解決

問題	解決法
ユーザーの入室時にディスプレイが準備完了モードになりません。	<ul style="list-style-type: none">全てのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。プレゼンス検知センサーをブロックしているものか何もないことを確認します。
必要でない場合にディスプレイが準備完了モードになります。	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイをチェックし、可能であれば次の物体から離します。<ul style="list-style-type: none">直射日光明るい光強制換気ダクトプラズマディスプレイ赤外線オーディオシステムおよびその他の赤外線を発する装置磨かれた床、ガラス壁、またはその他の反射面プレゼンス検知センサーの範囲は16' (5 m)であることご注意ください。
存在検知でその他の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。	45 ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してくださいを参照してください。

ビデオの問題解決

問題	解決法
ビデオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none">ビデオが歪んでいます。視覚的ノイズがあります。画像が暗くなっています。	<ul style="list-style-type: none">接続されているコンピューターがオンになっており、スタンバイモードでないことを確認します。IQコントローラがアクセサリスロット確実に搭載され、電源ランプが点灯していることを確認します。接続されているコンピューターの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定します。ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。
ディスプレイはONになっているが、何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none">接続されているコンピューターに電源が入り、スタンバイモードになっていないことを確認します。(画面下の) ホームボタンをタッチしてランチャーを開き、画面が動作していることを確認します。ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。コンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断します。
コンピューターはディスプレイに接続されているが、画面上に「接続を探しています」というメッセージのみが表示される。	コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。
ビデオを別のディスプレイに出力したい。	<ul style="list-style-type: none">新しいAM30 / AM40を搭載したディスプレイのみがビデオ出力に対応しています。セカンダリディスプレイの使用を参照してください。
ビデオにその他の問題が生じている、または上記解決策で問題が解決しない場合。	45 ページ その他の問題 に関しては、 SMARTナレッジベースを参照してください を参照してください。

画質の問題解決

問題	解決法
イメージの品質で下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none">画面にラインまたはスノーがあります。ちらつきや点滅がある場合、イメージ	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイでサポートされている値に、コンピューターの解像度やリフレッシュレートを設定します。オンスクリーンディスプレイを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。ディスプレイのイメージ設定を調整します。 51 ページディスプレイを参照。ディスプレイを再起動します。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。
画面上に明るい点があります。	<ul style="list-style-type: none">オンスクリーンディスプレイメニューを開きます。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。
画像が明瞭ではありません。線が入っているように見えたり、二重にぼやけたり歪んでいるように見えます。	ディスプレイのイメージ設定を調整します。 51 ページディスプレイを参照。

問題	解決法
色が正しく表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> 2つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART製品に特有の問題ではありません。 VGAビデオ入力を使用している場合は、別のケーブルを使ったり、異なるソースを接続して、ケーブルや入力ソースに問題があるかどうかを確認してください。
画像が切れるかまたは左右にずれています。	<ul style="list-style-type: none"> 接続しているコンピューターのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整します。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。 コンピューターのデスクトップが完全な黒の場合は、濃い灰色または別の色に変更します。 コンピューターの背景が複数の画面に拡張している場合、デスクトップを複数画面で重複させるか、1つの画面としてディスプレイを設定します。
画像が画面全体に広がっていません。	<p>接続しているコンピューターのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</p>
ディスプレイにイメージが表示され続けます。	<p>イメージ永続性またはCDディスプレイ上の焼き付けをご参照ください。</p>
その他のイメージの品質の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生中です。	<p>45 ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してくださいを参照してください。</p>

オーディオの問題解決

問題	解決法
オーディオで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none">スピーカーから音が聞こえてこない。スピーカーから音が聞こえるが、音量が小さい。音がひずむかくもつた。	<ul style="list-style-type: none">外部スピーカーを使用している場合は、スピーカーの電源が入っていることを確認します。コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。 <div>注記<ul style="list-style-type: none">ディスプレイのコネクタのステレオ3.5mmは、VGA入力に対応します。ディスプレイのステレオ3.5mmアウトコネクタにオーディオケーブルを接続すると、内蔵スピーカーが無効になります。ディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用してサウンドバーや外付けスピーカー用受信器を接続する場合は、27 ページ外付けスピーカーの接続を参照してください。</div> <ul style="list-style-type: none">本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていないことを確認します。ディスプレイのオーディオ設定を調整します。 52 ページオーディオを参照してください。接続しているコンピューターのオーディオ出力で、本製品がデフォルトのオーディオデバイスに設定されていることを確認してください。 接続しているコンピューターの、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80％に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。 または 外付けスピーカーを使用している場合、コンピューター、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80％に設定した後、スピーカーの音量を調整します。
ディスプレイ背面から、ウィーンまたはボジジという音が聞こえます。	<ul style="list-style-type: none">これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電氣的ノイズを発しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。
問題が解決しない場合、オーディオ機能に別の問題が発生しています。	45 ページその他の問題に関しては、SMART ナレッジベースを参照してくださいを参照してください。

タッチおよびデジタルインクの問題解決

問題	解決法
タッチとデジタルインクで下記または類似の問題が発生中です。 <ul style="list-style-type: none">ユーザーが画面上にタッチまたは書き込む場合、ポインターまたはデジタルインクは間違った場所に表示されます。タッチおよびデジタルインクが途切れます。デジタルインクで書いても消えます。デジタルインクの色が急に変わります。	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイを再起動します。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。コンピューターが1本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。SMART 製品ドライバーとSMART Ink がインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。別のディスプレイから動作中のペンを使用して、問題がペンによって起こっているかどうかをチェックします。白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させます。ファームウェアを更新してください。壁からディスプレイを取り外し、調整して、問題が解決したかどうかを確認します。問題が解決している場合には、壁と壁のマウントに問題がないかをチェックします。

問題	解決法
ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。	SMART Product Drivers を再インストールまたはアップデートします。
ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。	接続されているコンピューターがディスプレイのUSB接続を検出し、ドライバをインストールしていることを確認します。Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符(!)が表示されていないことを確認してください。Macコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
ディスプレイのペンに関する1つ以上の問題が発生しています。	<ul style="list-style-type: none">SMART Board 7000シリーズインタラクティブディスプレイに付属のペン以外は使用しないでください。他のインタラクティブディスプレイ用のペンとは互換性がありません。ペンをマグネットホルダーに戻し、キャリブレーションを行います。ペンのスイッチに損傷や汚れがないことを確認します。ペンが動作していない場合、ペンがディスプレイとペアリングし、完全に充電されていることを確認します。すべてのペンが動作していない場合、マグネットホルダーにペンを戻し、ディスプレイを再起動してください。
Microsoft Officeでは、書き込みや描画を行うことはできません。	<ul style="list-style-type: none">Microsoft Office 2013以降がインストールされていることを確認してください。SMART製品のドライバおよびSMART Inkを、再インストールまたは更新してください。
タッチおよびデジタルインクでその他の問題が発生している、または上記解決策で問題が解決しない場合。	45 ページ その他の問題 に関しては、 SMARTナレッジベース を参照してくださいを参照してください。

iQの問題解決

ホワイトボード、SMART Notebook Player、Browser、Input、Screen Shareの各アプリなど、iQの使用に関する問題解決の詳細は、[iQシステムソフトウェアの問題解決](#)を参照してください。

Intel Compute Cardの問題解決

Intel Compute Cardのドライバなどの問題解決は、[Intel Compute CardのWindows 10のトラブルシューティング](#)を参照してください。

ソフトウェアの問題解決

教育用モデル限定

SMART Learning Suite (SMART Notebookソフトウェアを含む) の問題解決の詳細は、[SMART Notebook 18のトラブルシューティング](#)を参照してください。

Proモデル限定

SMART Meeting Proソフトウェアの問題解決の詳細は、[SMART Meeting Pro 4のトラブルシューティング](#)を参照してください。

その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください

その他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してください。

community.smarttech.com/s/topic/0TOOP000000010RIWAY/7000-series

その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイの問題を解決できないか、本章やナレッジベースにも解決策が掲載されていない場合は、SMART正規販売代理店 (smarttech.com/where) でサポートを受けてください。

販売代理店で、ディスプレイやQコントローラのシリアル番号が必要になる場合があります。

ディスプレイのシリアル番号の場所

ディスプレイのシリアル番号は、次の場所にあります。

- 下側フレーム
- ディスプレイ背面

iQコントローラのシリアル番号の場所

iQコントローラのシリアル番号は、次の場所にあります。

- iQの設定内 (46 ページ*iQ設定の調整*を参照)
- iQコントローラ上

注記

シリアル番号を見るにはQコントローラをディスプレイから取り外す必要があります。

付録 A

iQ設定の調整

ネットワークの設定	46
カスタマイズ	47
アプリケーションの設定	48
システム設定	50

ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

注記

- 設定は、ユーザーまたはシステム全体に適用可能です。ユーザーレベルの設定は、サインインしているユーザーによって変わります。システムレベルの設定はすべてのユーザーに適用されます。詳細については設定を参照してください。
- あなたがSMART アカウントにサインインしている間は、一部の設定を使用できません。全ての設定を見るために、ディスプレイのSMARTアカウントからサインアウトしてください。

ネットワークの設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ Wi-Fi				
• Wi-Fi	オン オフ	Wi-Fiをディスプレイで有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。	システム
• [Wi-Fiネットワーク名]	該当なし	接続されたワイヤレスネットワークについての情報を表示します。	該当なし	システム
• Wi-FiのMAC アドレス	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークのMAC アドレスを表示します。	[N/A]	システム
• Wi-FiのIP アドレス	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークのIP アドレスを表示します。	[N/A]	システム
▶ SMART iQのイーサネット				
• 高度なオプション	[N/A]	イーサネット ケーブル接続時オプション利用可能	[N/A]	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> • スタティックIP (DHCPを使用) 	オン オフ	DHCPを有効または無効にして、ディスプレイIPアドレスを割り当てます。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> • プロキシ(プロキシを使用) 	オン オフ	ネットワークに接続するためにプロキシサーバーを有効または無効にする。	[N/A]	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> • プロキシ(自動構成) 	オン オフ	ネットワークに接続するためプロキシサーバーの自動設定を有効または無効にする。	[N/A]	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> • MACアドレス 	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス 	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	該当なし	システム
▶ Bluetooth				
<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth 	オン オフ	ディスプレイのBluetoothを有効または無効にします。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> • 利用可能なBluetoothデバイスを表示 	該当なし	使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
▶ SMART Cloud				
<ul style="list-style-type: none"> • SMARTクラウドのステータス 	[状態]	SMARTクラウドのステータスを表示します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> • サービス地域 	該当なし	サービス地域を表示します。	該当なし	システム

カスタマイズ

注記

iQが無効になっている場合、パーソナライゼーション設定は利用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> • 壁紙 	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> • 1920 × 1080 サイズの画像が最適です • 本ディスプレイはpngおよびjpgのファイル形式をサポートしています。 • ディスプレイの壁紙の変更を参照してください。 	ユーザー

アプリケーションの設定

注記

iQが無効になっている場合、アプリケーション設定は利用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ ランチャー				
• SMART Notebook Player	オン オフ	ライブラリアプリでSMART Notebook Playerを有効もしくは無効にします。	該当なし	ユーザー
• ブラウザー	オン オフ	ライブラリアプリでブラウザを有効もしくは無効にします。	[N/A]	ユーザー
• 入力	オン オフ	ライブラリアプリで入力を有効もしくは無効にします。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	該当なし
• 画面の共有	オン オフ	ライブラリアプリでスクリーンシェアを有効もしくは無効にします。	該当なし	ユーザー
▶ ファイルライブラリ				
• ホワイトボードストレージ	該当なし	[N/A]	該当なし	ユーザー
• デフォルトのホワイトボードの場所	マイファイル> SLS ファイル マイファイル> ボード ファイル	新しいホワイトボードファイルの保存場所を設定します。	SMART NotebookおよびSMART Learning Suite OnlineのファイルをiQエクスペリエンスに同期するを参照してください。	ユーザー
• ファイルストレージ	該当なし	該当なし	[N/A]	ユーザー
• ファイルライブラリで Google ドライブの統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにログインしているときGoogleドライブへのアクセスを有効または無効にします。	GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開くを参照してください。	ユーザー
• ファイルライブラリで OneDrive の統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにサインインしているときにOneDriveへのアクセスを有効または無効にします。	GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開くを参照してください。	ユーザー
▶ SMART のホワイトボード				
• ホワイトボードストレージ	該当なし	該当なし	[N/A]	ユーザー
• ライブラリ	オン オフ	kappホワイトボードセッションの保存を有効もしくは無効にします。	該当なし	ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードをライブラリに保存します 	1週間 1ヶ月間 無期限に	kappホワイトボードセッションが保存される期間を設定します。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> モバイルアプリ 				
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードを保存 	オン オフ	SMART kappアプリのキャプチャー機能を有効または無効にします。	このオプションがOFFになっているとQRコードは表示されません。 The SMART kappアプリはディスプレイとモバイルデバイスに接続できず、ディスプレイのアプリのスナップショットを保存出来ません。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードの共有 	オン オフ	SMART kappアプリの招待機能を有効または無効にします。	このオプションがオフの場合、他の人をセッションに招待は出来ません。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> 書き込み 				
<ul style="list-style-type: none"> 注釈レイヤを有効にする 	オン オフ	ホーム画面、ビデオ入力、およびほとんどのアプリで書き込みを有効または無効にします。	該当なし	ユーザー
▶ 画面の共有				
<ul style="list-style-type: none"> 許可が必要 	オン オフ	画面を共有するデバイスからの自動接続を有効または無効にします。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> AirPlay 	オン オフ	AirPlayのプロトコルを有効または無効にします。	AirPlayはデフォルトで有効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> Google Cast 	オン オフ	Google Castのプロトコルを有効または無効にします。	Google Castはデフォルトで有効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> Miracast 	オン オフ	Miracastのプロトコルを有効または無効にします。	Miracastはデフォルトで有効になっています。 ❗ 重要事項 Miracastデバイスを接続している間は、AirPlayとGoogleキャストを使用している端末はディスプレイに接続できません。	システム
<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンスのログ 	オン オフ	SMARTサポートでは、問題の診断に役立つパフォーマンス・ログを有効にするようユーザーに求める場合があります。	パフォーマンスログはデフォルトでは無効になっています。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> Miracast のWiFi から自動切断する 	オン オフ	有効にすると、デバイスがMiracast を使用して画面を共有している場合、ディスプレイがネットワークから切断されます。	<p>SMARTは、ネットワークの飽和度が高いエリアや、ネットワークが混雑しているエリアに対しては、この設定を有効にすることをお勧めしています。</p> <p>重要事項</p> <p>Miracastが有効な場合、ディスプレイに接続可能なデバイスは一つだけです。</p> <p>この設定はかつて、「Miracastの接続の取り扱い」と呼ばれていました。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> 画面の共有をリセットします 	該当なし	スクリーンシェアアプリとディスプレイを閉じて再起動します。	モバイルデバイスまたはコンピュータが検出できないか、ディスプレイに接続できない場合は、Screen Share機能を再起動してトラブルシューティング手順を実行します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> Web プレーヤーを使用する 	オン オフ	有効にすると、ディスプレイは別の方法でビデオをストリーミングします。	このメソッドが機能しない場合、無効にして元のメソッドに戻してください。	システム

システム設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ システム				
<ul style="list-style-type: none"> USB大容量記憶装置へのアクセスする 	オン オフ	USBドライブへのアクセスを有効または無効にします。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proのみ適用されます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> SMART BoardとQ 	オン オフ	iQエクスペリエンスを有効または無効にする。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proのみ適用されます。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> デフォルト入力 	ディスプレイ上で利用可能な入力。	ディスプレイの起動時に使用するデフォルト入力を選択。	iQ埋め込みエクスペリエンスがデフォルト入力 これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	システム
▶ 電源				
<ul style="list-style-type: none"> 人が近くいるときにオンにする 	オン オフ	存在検出センサーが部屋にいるユーザーを検出した場合にディスプレイの電源をONに設定。	このオプションはデフォルトではオフになっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> 後に画面をオフにする 	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードになるまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。	システム
<ul style="list-style-type: none"> 後に省エネモードに移行する 	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードに入るまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。	システム
<ul style="list-style-type: none"> スタンバイ(シャットダウン) 	該当なし	選択すると、ディスプレイはすべての実行中のコンポーネントをオフにして、最大のエネルギー節約を達成しますが、スリープ解除が遅くなります。	このオプションは省エネ率が高いです。 このオプションは、EUのディスプレイのデフォルトです。	システム
<ul style="list-style-type: none"> ネットワークスタンバイ(スリープ) 	該当なし	選択すると、ディスプレイが速く起動し、ネットワークからのWake on LANコマンドで起動できます。	このオプションは省エネ率が低いです。 このオプションは、EU以外のディスプレイのデフォルトです。	システム
▶ ディスプレイ				
<ul style="list-style-type: none"> 画面調整 				
<ul style="list-style-type: none"> 輝度 	0-100	画像の全体的な明るさを設定。		システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• コントラスト	0-100	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の差を設定。	該当なし	ユーザー
• 高度なディスプレイオプション				
• 色温度	非常に冷たい 寒色 ニュートラル 暖色 非常に温かい	ディスプレイ上での色の表示方法を設定。	該当なし	システム
• 明るさ	0-488	画像の全体的な明るさを設定。	該当なし	システム
• コントラスト	0-488	画像の全体的なコントラストを設定。	該当なし	システム
• 彩度	0-511	画像の全体的な彩度を設定。	該当なし	システム
• 赤	0-448	画像の全体的な赤色を設定。	該当なし	システム
• 緑	0-448	画像の全体的な緑色を設定。	該当なし	システム
• 青	0-448	画像の全体的な青色を設定。	該当なし	システム
• HDMI出力				
• デフォルトの解像度	自動 4K60 1080p60 720p60 640x480p60	HDMI出力解像度の設定。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	システム
• HDMI入力				
• HDMIの詳細設定	HDMI 2.0 HDMI 1.4b 自動検出	各HDMI入力のHDMIバージョンを設定します。	また、厳密に準拠したHDMI入力DDC SDAタイミングを有効または無効にし、古いレシーバでHDCP 2.2を禁止または許可することもできます。 これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	システム
• 信号がないときに入力ポートに移動する	オン オフ	有効にすると、信号がないときに入力プレビューを表示します。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	システム
▶ オーディオ				
• スピーカー				

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカー 	オン オフ	ディスプレイ内蔵スピーカーを有効または無効にする。	アナログスピーカーがディスプレイに接続されると、ディスプレイの内蔵スピーカーは自動的に無効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> オーディオのプロパティ 				
<ul style="list-style-type: none"> バランス 	0-100	スピーカーからのオーディオ出力を設定します。	オーディオ出力を左側のみにしたい場合は、スライダーを一番左までドラッグします。オーディオ出力を右側のみにしたい場合は、スライダーを一番右までドラッグします。	システム
<ul style="list-style-type: none"> バス 	0-100	低音を設定します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> トレブル 	0-100	高音を設定します。	該当なし	システム
▶ 日付と時刻				
<ul style="list-style-type: none"> 自動日付と時刻 	オン オフ	ディスプレイの日付および時間を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル(NTP) からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 ネットワークへの接続 を参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> 日付 	該当なし	ディスプレイの日付を設定します。	自動日付 & 時刻 を無効にすると、手動で日付を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> 時間 	該当なし	ディスプレイの時間を設定します。	自動日付 & 時刻 を無効にすると、手動で時刻を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> 24時間形式の時刻 	オン オフ	24時間制を使用してディスプレイの時間を表示します。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> タイムゾーン 	該当なし	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> 言語 	[言語]	設定メニューで言語を設定する。		ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> 国 	国	ディスプレイの国を設定する。	該当なし	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ 診断				
• 工場出荷時リセット	該当なし	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。	該当なし
• ログファイルをUSBキーに保存する	該当なし	USBドライブを使用するため診断ログをコピーする。	該当なし	該当なし
• ログファイルをSMARTに送信する	該当なし	SMARTに診断ログを送信します。	該当なし	該当なし
• 操作性を向上します	オン オフ	使用状況統計、エラーレポートをSMARTに送信する。	該当なし	ユーザー
• サポートID	[サポートID]	ディスプレイ用のサポートIDを表示する。	該当なし	該当なし
• ログサービス	[言語]	設定メニューで言語を設定する。		ユーザー
• ログサービスを有効化する	オン オフ	USBドライブへのログの保存を有効または無効にする	該当なし	システム
• ログレベル	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
• ログレベルRAW	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
• ログレベルSPM	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
• ログレベルRATP	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
• ログレベルSEP	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
• ログレベルEXT	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
▶ セキュリティ				
• 設定をロック	該当なし	USBドライブにある証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	詳細は、 設定アプリのロック を参照してください。	システム
• パスワードを表示させる	オン オフ	アプリまたはWebサイトでパスワードを入力するときに文字が表示される	該当なし	システム
• 証明書をインストールします	該当なし	ネットワークに接続するための証明書をインストールする。	該当なし	システム
• 証明書の表示	該当なし	インストールされている証明書を表示します。	該当なし	システム
• 自動非アクティブログアウト	有効 無効	非アクティブの時間が経過すると、自動的にユーザーをログオフします。	該当なし	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• 整理します				
• ボジナーを整理します。	無効 クリーンアップボタンで手動でリセットします。 1 時間 2 時間 3 時間 1 日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	該当なし	ユーザー
• ホワイトボードを整理します	該当なし	ホワイトボードのセッションをライブラリに保存し、ホワイトボードを消去します。	該当なし	ユーザー
• ブラウザーを整理します	該当なし	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、クッキーを消去する。	該当なし	ユーザー
• その他のアプリケーションを整理します	該当なし	開いているアプリケーションを閉じます。	該当なし	ユーザー
▶ ソフトウェアの更新				
• 更新プログラムチャンネル	安定チャンネル ベータチャンネル	どの iQ システムソフトウェアがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	Beta から Stable チャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。工場出荷時初期設定へのリセットの詳細に関しては、54 ページを参照してください。 Beta チャンネルについては、 Beta チャンネルへの切り替え を参照してください。	システム
• システム更新チャンネル	安定チャンネル ベータチャンネル	どのディスプレイがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	これは、SMART Board 7000-V2 および 7000-V2 Pro にのみ適用されます。	システム
• 今すぐ更新を確認(C)	該当なし	システムのソフトウェアの更新を確認します。 注記 システムソフトウェアのアップデートを確認するには、ディスプレイをインターネットに接続するか、システムソフトウェアアップデートファイルを含む USB ドライブがディスプレイに接続されている必要があります。	更新が利用可能な場合、テキストは「更新を今すぐ適用」に変わります。	該当なし

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ リモート管理				
<ul style="list-style-type: none"> リモート管理の設置を起動 	該当なし	Radix Visoサーバーでディスプレイ接続設定を行う。	このオプションは、リモート管理が有効になっている場合にのみ有効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> リモート管理が有効になっています 	オン オフ	ディスプレイのリモートマネジメントを有効または無効にする。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> Radix Visoバージョン 	該当なし	Radix Visoバージョンを表示します	該当なし	システム
▶ バージョン情報				
<ul style="list-style-type: none"> ヘルプ 	該当なし	SMARTサポートサイトを表示します。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> ボード名 	該当なし	ディスプレイの名前を選択します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> フィードバックを送信します 	該当なし	SMARTI機能要請を送信します。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> ボードの詳細 	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> ビルド番号 	該当なし	iQシステムソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> シリアル番号 	該当なし	iQコントローラのシリアル番号が表示されます。 iQアプライアンスのシリアルナンバーを表示します (SMART Board 7000および7000 Pro)。 ディスプレイのシリアルナンバーを表示します (SMART Board 7000-V2および7000-V2 Pro)。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> 部品番号 	該当なし	ディスプレイの部品番号を表示します。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> モデル番号 	該当なし	ディスプレイのモデル番号を表示します。	これは、SMART Board 7000-V2および7000-V2 Proにのみ適用されます。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> 構成 	該当なし	ディスプレイのiQシステム構成を表示します。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> ファームウェアの詳細 	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> 法令情報 	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> 使用許諾契約書 	該当なし	SMART使用許諾契約書を表示します。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> オープンソースライセンス 	該当なし	オープンsourceライセンスを表示します。	該当なし	該当なし

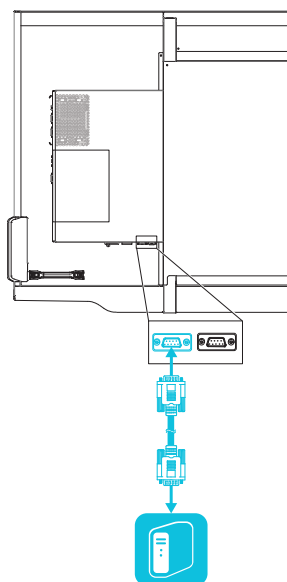
オプション	値	機能	注	ユーザーまたは システムの設定
• SMARTの知的財産	該当なし	SMART知的所有権情報を表示します。	該当なし	該当なし

付録 B

ディスプレイのリモート管理

複数のディスプレイの接続	59
コンピュータのシリアルインターフェースの設定	59
電源状態	60
コマンドと応答	61
電源状態コマンド	63
入力コマンド	63
明るさコマンド	64
フリーズコマンド	64
ボリュームコマンド	64
ミュートコマンド	64
ファームウェアバージョンのコマンド	65
シリアル番号のコマンド	65
パーツ番号のコマンド	65
リモート管理に関する問題の解決	66

RS-232ケーブルをコンピュータのシリアル出力からディスプレイ底部のRS-232 INポートに接続して、ビデオ入力やディスプレイのオン / オフを離れた場所から操作したり、コントラストや電源状態などのディスプレイの現在の設定内容を取得することができます。

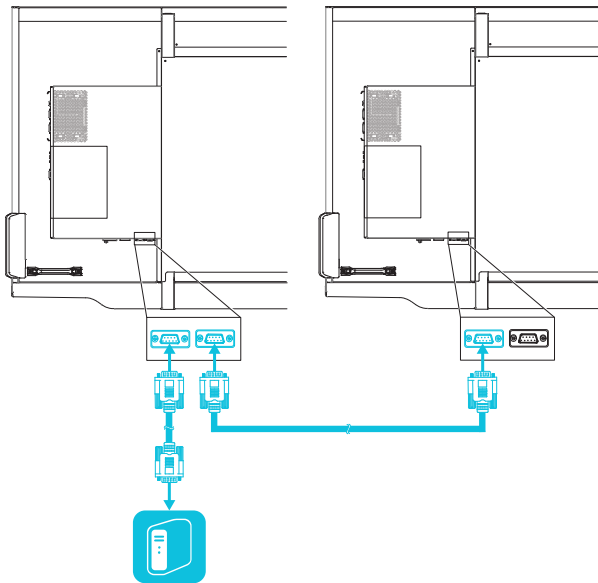


❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

複数のディスプレイの接続

コンピューターのシリアルポートとディスプレイ右端のRS-232 INポートをRS-232ケーブルで接続し、別のRS-232ケーブルをディスプレイ右端のRS-232 OUTポートから次の右端のRS-232 INポートに接続する方法で、室内のコントローラシステムに最大10台のディスプレイを接続することができます。



注記

- この方法でディスプレイを接続すると、すべてのディスプレイが一つの単位として動作します (23 ページ複数のディスプレイの取付け参照)。
- get input、set input、およびget fwverを除くすべてのリモート制御コマンドが、接続されたすべてのディスプレイに適用されます。

コンピューターのシリアルインターフェースの設定

ディスプレイコマンドを送信する前に、コンピューターのシリアルインターフェースを設定します。

コンピューターのシリアルインターフェイスを設定する

1. ディスプレイをONにします。
2. コンピューターの電源を入れ、シリアル通信プログラムまたはターミナルエミュレーションプログラムを開始します。

- ローカルエコーを有効にします。
- 次の値を使用してシリアルインターフェイスを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1




次の行にコマンドプロンプト (>) が表示されると、ディスプレイはコンピュータからのコマンドを受信できます。

注記

メッセージがなにも表示されないか、エラーメッセージが表示された場合、シリアルインターフェイスが正しく設定されていません。手順3～4を繰り返してください。

電源状態

ディスプレイの電源状態は6とおりあります。

電源状態	説明
オン	ディスプレイは通常の動作モードです。
準備完了	画面は消灯していますが、次の動作をするとディスプレイは点灯します。 <ul style="list-style-type: none">ユーザーが電源ボタン  を押す。ユーザーが、ペンやイレーザを手にする。set powerstate=onコマンドを送信する。
スタンバイ	画面は消灯し、ディスプレイは低電力モードです。次の動作をすると、ディスプレイはREADY状態に入ります。 <ul style="list-style-type: none">存在検出センサーが、部屋にいる人を検出する。ユーザーが操作パネルにある電源ボタン  を押す。set powerstate=onコマンドを送信する。
POWERSAVE	画面は消灯し、ディスプレイは超低電力モードです。次の動作をすると、ディスプレイはREADY状態に入ります。 <ul style="list-style-type: none">ユーザーが操作パネルにある電源ボタン  を押す。set powerstate=onコマンドを送信する。
UPDATEON	ディスプレイでファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。
UPDATEREADY	画面消灯中にディスプレイがファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。

get powerstate および set powerstate を除き、ディスプレイ電源がON状態になっている場合にのみコマンドが利用可能です。

コマンドと応答

ディスプレイ情報にアクセスしたり、室内コントローラシステムを使用して、ディスプレイの設定を調整するには、コマンドプロンプト (>) の後にコマンドを入力し、ディスプレイからの応答を待ちます。

正解

```
>get volume  
volume=55  
>
```

室内コントローラシステムが認識しないコマンドを入力した場合、無効なコマンドという応答を受信します。

以下の例では、ボリュームコマンドに余分なスペースが入っています。

誤り

```
>set vol ume=65  
invalid cmd=set vol ume=65  
>
```

注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドは、大文字小文字を区別しません。
- コマンド入力時、BACKSPACEキーを使用できます。
- 入力内容を慎重に確認してから、ENTERキーを押してください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプトが表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。

現在の設定値を確認するには

get コマンドを使用します。

次の例は、ボリュームの取得方法を示します。

```
>get volume  
volume=55  
>
```

設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65
volume=65
>
```

設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5
volume=70
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15
volume=55
>
```

特定のディスプレイで値を指定 / 割り当てるには

コマンドを、[Display],@で開始します。この[Display]は、コマンドを適用させるディスプレイです。

この例では、一番右にあるディスプレイの入力をHDMI 2に設定します。

```
>A,@ set input=hdmi2
@,A input=hdmi2
>
```

注記

- 一番右のディスプレイにA、次にBのラベルを付ける、というふうにします。
 - ディスプレイを特定できるのは、get input、set input、およびget fwversion コマンドのみです。
-

電源状態コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	<p>set powerstate[値] [値] は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none">• =on• =ready• =standby• =powersave <hr/> <p>注記</p> <p>ディスプレイがUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。</p>	<p>powerstate=[値] [値] は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none">• オン• 準備完了• スタンバイ• 省電力• updateon• updateready

入力コマンド

Get command	Set command	回答
1台のディスプレイが接続されている場合		
get input	<p>set input[値] [値] は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none">• =hdmi1• =hdmi2• =dp1• =vga1• =ops1	<p>input=[値] [値] は、次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none">• HDMI1• HDMI2• dp1• VGA1• ops1
複数のディスプレイが接続されている場合		
<p>[ディスプレイ],@ get input [ディスプレイ] は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。</p>	<p>[ディスプレイ],@ set input[値] 場所</p> <ul style="list-style-type: none">• [ディスプレイ] は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。• [値] は、次のいずれかです。<ul style="list-style-type: none">◦ =hdmi1◦ =hdmi2◦ =dp1◦ =vga1◦ =ops1	<p>@[Display] input=[Value] 場所</p> <ul style="list-style-type: none">• [Display]はディスプレイのラベルです (A、B、など)。• [Value]は、次のいずれかです。<ul style="list-style-type: none">◦ HDMI1◦ HDMI2◦ dp1◦ VGA1◦ ops1

明るさコマンド

Get command	Set command	回答
get brightness	set brightness[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• +[Value]• -[Value]• =[5-100]	brightness=[Value] [Value]は5～100の数字です。

フリーズコマンド

Get command	Set command	回答
get videofreeze	set videofreeze[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• =on• =off	videofreeze=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• オン• オフ

ボリュームコマンド

Get command	Set command	回答
volumeを取得します	set volume[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• +[Value]• -[Value]• =[0-100]	volume=[Value] [Value]は、0～100の数字です。

ミュートコマンド

Get command	Set command	回答
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• =on• =off	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none">• オン• オフ

ファームウェアバージョンのコマンド

Get command	回答
1台のディスプレイが接続されている場合	
get fwversion	fwversion=[Value] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。
複数のディスプレイが接続されている場合	
[Display],@ get fwversion [Display]は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。	@,[Display] fwversion=[Value] 場所 <ul style="list-style-type: none">• [Display]は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。• [Value]は、ファームウェアのバージョンです。

シリアル番号のコマンド

Get command	回答
get serialnum	serialnum=[Value] [Value]は、シリアル番号です。
	注記 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイのシリアル番号が含まれています。

パーツ番号のコマンド

Get command	回答
get partnum	partnum=[Value] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。
	注記 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイ品番が含まれます。

リモート管理に関する問題の解決

次の表は、リモート管理で一般的な問題を提示し、それらを解決する方法について説明します。

問題	解決法
リモート管理に関する一般的な問題が発生している	<ul style="list-style-type: none">すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認します。ディスプレイとリモート管理システムを再起動してください。 36 ページディスプレイの消灯と点灯を参照してください。シリアルインターフェース設定を構成します。 59 ページコンピューターのシリアルインターフェースの設定参照。
その他のリモート管理の問題がある、または上記のソリューションで解決できない問題が発生している	45 ページその他の問題に関しては、SMARTナレッジベースを参照してくださいを参照してください。

付録 C

ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologiesは、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

廃電気電子機器 (WEEE)

電気、電子機器には、環境や人の健康に害を及ぼすおそれのある物質が含まれています。車輪付きゴミ箱にバツ印が表示されている機器は、通常のゴミとしてではなく正しいリサイクル方法に沿って廃棄してください。



バッテリー

ペンには、充電式リチウム電池が内蔵されています。電池は正しくリサイクルまたは廃棄してください。

詳細情報

詳細についてはsmarttech.com/complianceをご参照ください。

SMART TECHNOLOGIES

smarttech.com/support

smarttech.com/contactsupport

smarttech.com/ja/kb/171164